

2019 年度 黒部市社会福祉法人連合会  
『ふくしの暮らしアンケート【防災編】』

調査報告書

令和2年1月

黒部市社会福祉法人連合会

【事務局】社会福祉法人 黒部市社会福祉協議会

## 1 アンケート調査目的

黒部市社会福祉法人連合会(黒部市内に事業所を持つ社会福法人:全11法人)は社会福祉法人の使命として行う地域貢献事業として福祉に関わる相談全般に対応できる「ふくし丸ごと合同相談会」を開催する。

この調査では、各会員法人より、専門職員が集まり、保育、介護、障がいなど、様々な相談に答えることのできる体制をとり、地域福祉の現状把握、並びに今後の事業展開にむけての情報収集を行い、今後どのような形で地域における公益活動に取り組むべきか等を検討することを目的としている。

## 2 調査対象

一般市民 100名(黒部市福祉センター年越しまつり来場者)

## 3 調査実施期間

令和元年12月21日

## 4 アンケート調査方法

黒部市福祉センター年越しまつり(12月21日)と同日開催した黒部市社会福祉法人連合会「ふくし丸ごと合同相談会」に来場された方にアンケートを依頼し、相談員と共に回答してもらう。

回収: 回収—100枚

対象者数	有効回答者数	有効回答率
100枚	100名	100.0%

## 5 調査結果まとめ

※別紙調査結果参照

# 黒部市社会福祉法人連合会『ふくしの暮らしアンケート【防災編】』調査結果

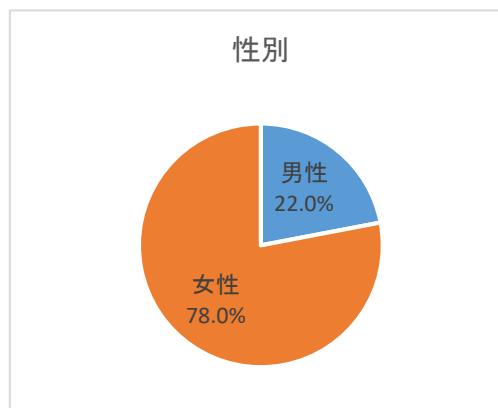
調査依頼者総数…100名 回収枚数…100枚 回収率…100.0%

## ◎回答者情報

### 1. 性別

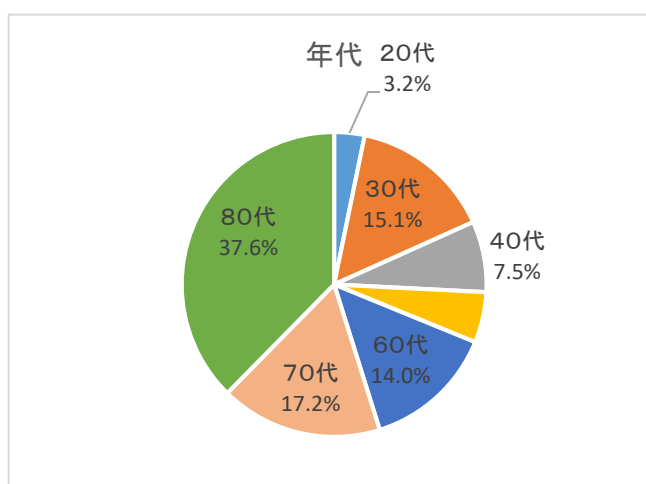
	回答(人)	%
男性	22	22.0
女性	78	78.0
全体	100	100.0

回答者の性別は、女性が78.0%、男性が22.0%と女性の比率が多かった。



### 2. 年代

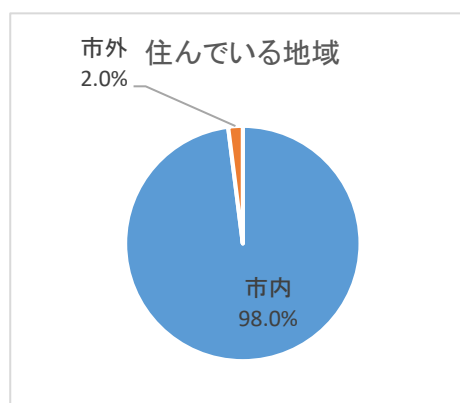
	回答(人)	%
20代	3	3.0
30代	14	14.0
40代	7	7.0
50代	5	5.0
60代	13	13.0
70代	16	16.0
80代	35	35.0
90代以上	7	7.0
全体	100	100.0



回答者の年代は、80代が35.0%、次いで70代が16.0%と多かったが、工作コーナーを目的に来場された20代、30代の子育て世代からも17.0.%と、各年代満遍なく回答を得ることができた。

### 3. 住んでいる地域

	回答(人)	%
市内	98	96.0
市外	2	4.0
全体	100	100.0

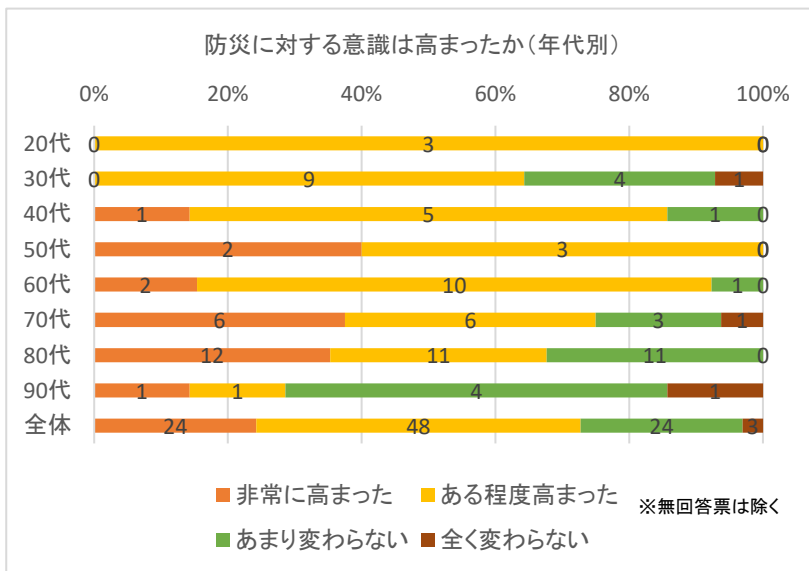
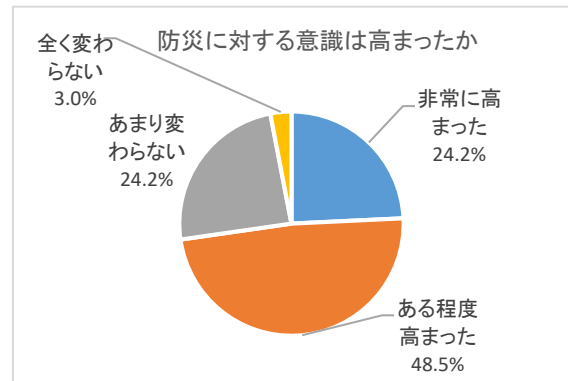


回答者の居住地は、市内在住が96.0%、市外在住が4.0%であった。  
市内在住者を地区別にみると、大布施が33.0%、生地14.0%、荻生12.0%の順で多かった。

◎災害への意識について

4. 近年、各地で自然災害が発生しているが、防災への意識は高まったか

	回答(人)	%
非常に高まった	24	24.0
ある程度高まった	48	48.0
あまり変わらない	24	24.0
全く変わらない	3	3.0
無回答	1	1.0
全体	100	100.0

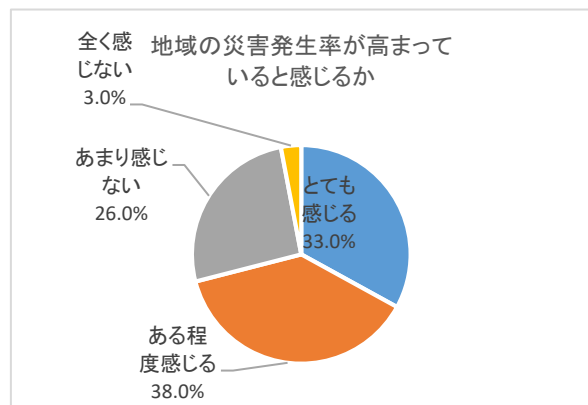


防災に対する意識調査では、各地で起きている自然災害を機に「高まった」と感じているが全体の約7割で、約3割は「変わらない」と回答していた。

年代別にみても回答に大きな偏りはなく、年代問わずその意識は個々に違うことがわかった。ただ、「非常に高まった、ある程度高まった」という回答がどの年代も半数以上占める中で、唯一90代からは、「あまり変わらない、全く変わらない」という回答が半数を超えていた。

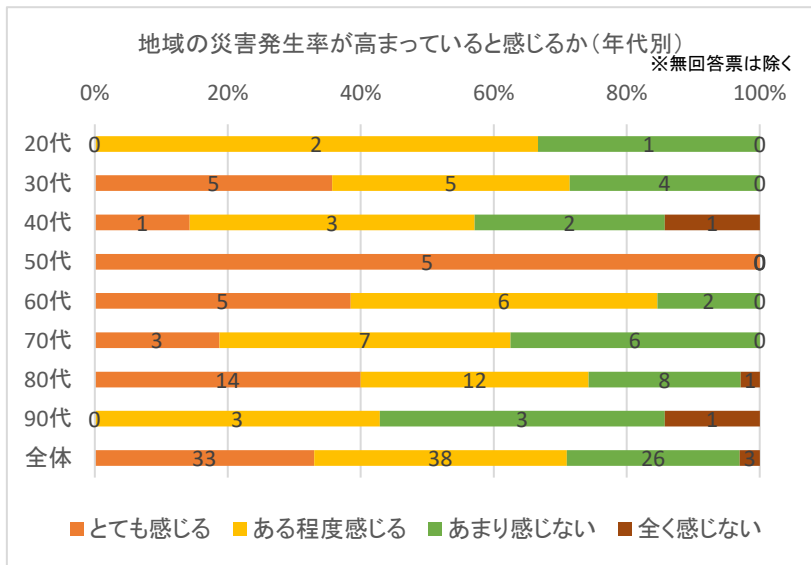
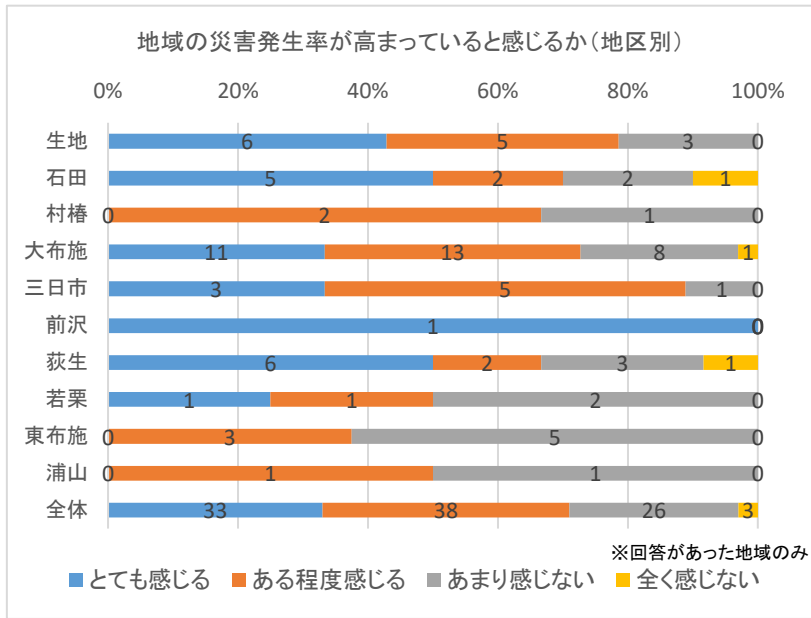
5. お住いの地域において災害発生率が高まっていると感じるか

	回答(人)	%
とても感じる	33	33.0
ある程度感じる	38	38.0
あまり感じない	26	26.0
全く感じない	3	3.0
全体	100	100.0



お住いの地域における災害発生率に関しても、「高まっていると感じる」が約7割、「感じない」が約3割と、回答率は、設問4(防災に対する意識について)とほぼ同じ比率であった。

地域別、年代別にみても回答に大きな偏りはなく、地域、年代問わずその意識は個々に違うことがわかった。こちらも、「とても感じる、ある程度感じる」という回答がどの年代も半数以上占める中で、90代からは、「あまり感じない、全く感じない」という回答が半数を超えていた。



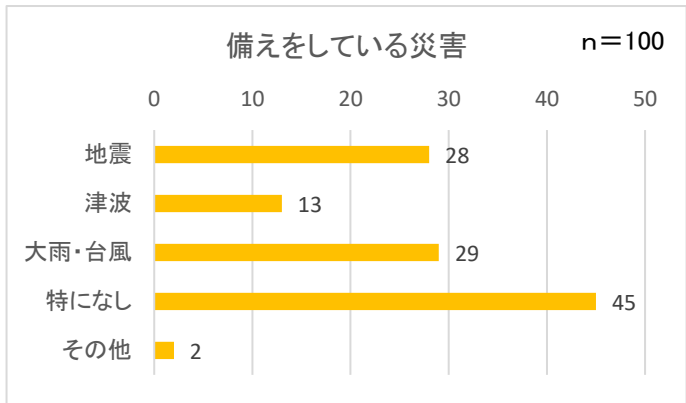
◎災害への備えについて

6. ご家庭で、備えをしている自然災害は

	回答数
地震	28
津波	13
大雨・台風	29
特になし	45
その他	2
無回答	3

【その他】

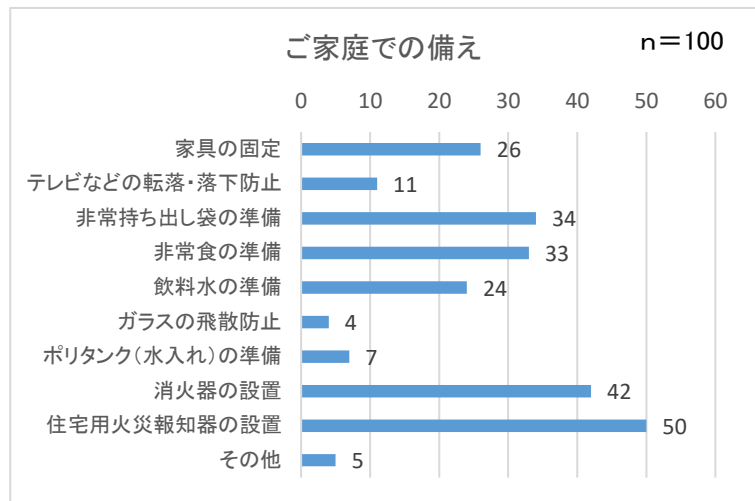
- ・非常食と物品の備えの必要性を痛感
- ・防災グッズ



「大雨・台風」と「地震」に対する備えを全体の約3割が実施していたが、約半数は、「特になし」と回答していた。この結果からも、災害に対する備えにおいては個人差が大きいことがわかった。

## 7. 地震や津波への備えを何かしているか（複数回答可）

	回答数
家具の固定	26
テレビなどの転落・落下防止	11
非常持ち出し袋の準備	34
非常食の準備	33
飲料水の準備	24
ガラスの飛散防止	4
ポリタンク（水入れ）の準備	7
消火器の設置	42
住宅用火災報知器の設置	50
その他	5



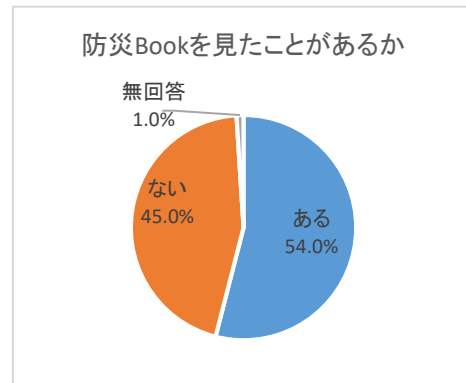
### 【その他】

- ・避難場所の確認（2名）
- ・自分のことばかり考えている
- ・薬
- ・何もしていない

住宅火災報知器や消火器の設置等、火災に対する備えが多くみられた。その他、持ち出し袋や非常食、飲料水の準備も約3割が実施していた。

## 8. くろべ防災Bookを見たことがあるか

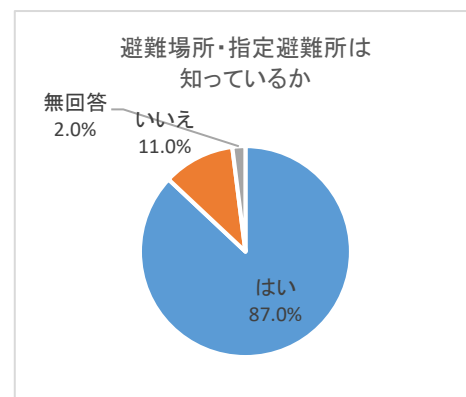
	回答(人)	%
ある	54	54.0
ない	45	45.0
無回答	1	1.0
全体	100	100.0



「ある」が54.0%、「ない」が45.0%と、見たことがある人の割合が若干高かった。

## 9. 指定緊急避難場所及び指定避難所は知っているか

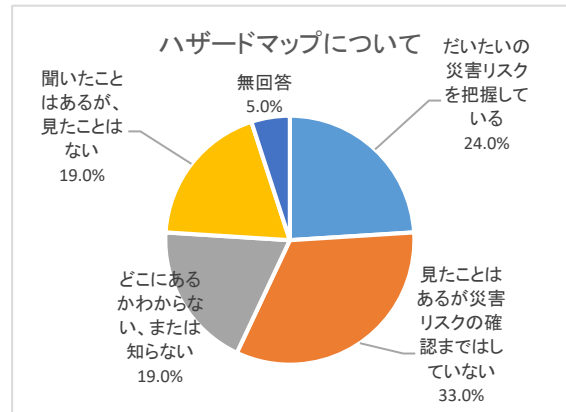
	回答(人)	%
はい	87	87.0
いいえ	11	11.0
無回答	2	2.0
全体	100	100.0



「はい」が87.0%、「いいえ」が11.0%と、知っている人の割合が高かった。

## 10 ハザードマップなどでご自宅を見たことがあるか

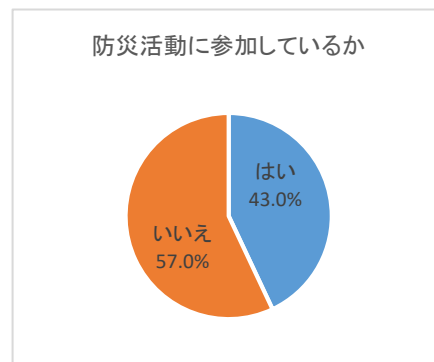
	回答(人)	%
だいたいの災害リスクを把握している	24	24.0
見たことはあるが災害リスクの確認まではしていない	33	33.0
どこにあるかわからない、または知らない	19	19.0
聞いたことはあるが、見たことはない	19	19.0
無回答	5	5.0
	100	100.0



「災害リスクの確認まではしていないが、ハザードマップを見たことがある人」が33.0%、「だいたいの災害リスクを把握している人」が24.0%と、全体の約6割がハザードマップを確認していた。一方で、「わからない、知らない、見たことがない」という方も、全体の約4割いた。

## 11 地域の防災活動（訓練）に参加しているか

	回答(人)	%
はい	43	43.0
いいえ	57	57.0
全体	100	100.0



防災活動への参加は、「はい」が43.0%で、「いいえ」が57.0%であった。

### 「はい」と答えた方の理由

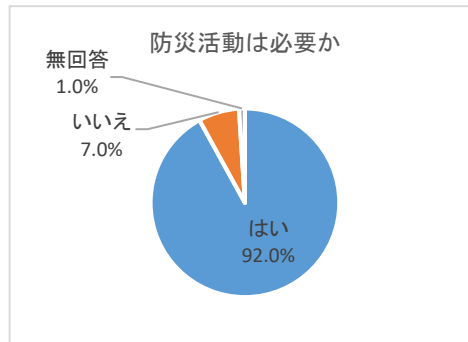
- 会社の方針で
- 自分自身の備え、日頃の準備のため
- 住民の意識が高まる
- 情報を得る機会になる
- 大布施公民館に1泊しました
- 役員の時に参加(2名)
- 夫が役員だったので
- 部落の訓練に参加(2名)
- 防災クラブに入ってます
- 町内の人々とのコミュニティが深まり、防災知識が身につく
- 3年前に1回は参加した
- 1回しか出たことがない

### 「いいえ」と答えた方の理由

- 都合がつかないため
- 高齢なので
- 家族は参加したが、自分は仕事で参加できず
- 開催日、場所などが分からない
- 見に行く程度
- 子どもが小さいため、大変そう
- 息子は行っている
- 足が良くないため
- 知らなかった
- 宇奈月から引っ越して5～6年で友達も少ない
- 夫が参加しているので
- 忙しくて参加できなかった
- 予定があった
- 老人だから

## 12. 地域の防災活動（訓練）は必要だと思うか

	回答(人)	%
はい	92	92.0
いいえ	7	7.0
無回答	1	1.0
全体	100	0.0



防災活動への参加は、「はい」が92.0%で、「いいえ」が7.0%と、約9割が必要と感じていた。

### 「はい」と答えた方の理由

- ・ 3年前の大雨の時、1度玄関に水が上がった。玄関直した。怖かった。
- ・ いざという時あわてない為
- ・ いざという時にもたもたになるので
- ・ いざという時のため
- ・ いつ来るかわからないから
- ・ みんなで参加できたらいいです
- ・ もしもの対策は必要だと思うから
- ・ 意識の向上
- ・ 一人暮らしなので、近所の人と話をしている
- ・ 何かあった時にならっておけばためになる
- ・ 災害時の行動が分からないため
- ・ 自分の身を守るため
- ・ 住民の意識が高まる
- ・ 息子が参加している
- ・ 足がないと不便
- ・ 地域の活動に協力のため
- ・ 避難場所までの移動が心配です
- ・ 非常時、落ち着いて行動がとれるよう訓練しておく
- ・ 非常時の迅速な対応
- ・ 必要
- ・ 富山は災害が少ないので日常の災害意識が薄い
- ・ 万が一災害が起きた際の行動を把握しておくことで、いざという時に落ち着いて行動できるから
- ・ 万一の時に役立つ訓練の有り無しは大違いと思う

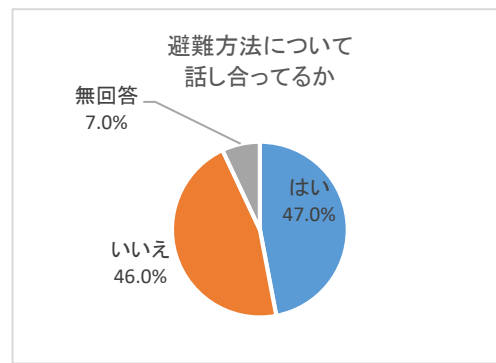
### 「いいえ」と答えた方の理由

- ・ 近所の息子に任せている



### 13. 家族で避難方法を話し合っているか

	回答(人)	%
はい	47	47.0
いいえ	46	46.0
無回答	7	7.0
全体	100	100.0



避難方法を家族と話し合っているかについては、「はい」が47.0%で、「いいえ」が46.0%と、回答数は半々に分かれた。年代別で比較してみると、20代～50代、90代は、半数以上が話し合っていないと回答し、60代～80代は、半数以上が話し合っていると答えていた。

### 14. 仮に災害が起きた時、どのようなことが不安であるか【年代別】

#### 【20代】

- ・ いつどこで起こるかわからないので連絡をどう取り合うか、合流できるかが不安
- ・ 食事

#### 【30代】

- ・ オール電化なので、日常的なこと、毎日のこと
- ・ どのように動きどのタイミングで避難すればいいか不安
- ・ ライフライン特に子どもペット同伴の受け入れ
- ・ 仮設施設での過ごし方
- ・ 家が流されたり壊れないか
- ・ 子どもたちの心のケア
- ・ 子どものことが心配。日中、バラバラになっている時。
- ・ 住宅が壊れた際の住まい
- ・ 連絡の取り方

#### 【40代】

- ・ 家族がバラバラに居る時、災害にあった時の避難
- ・ 薬を飲んでいるので、手に入るかどうか家に入れなかった場合

#### 【50代】

- ・ 慌てて大丈夫か心配水分、食品の不足
- ・ 非常食などが足りるのか

## 【60代】

- ・ ペットと一緒に避難出来るか
- ・ 家族との連絡
- ・ 家族との連絡がとれるか不安です。
- ・ 家族の安否、トイレ、食料
- ・ 皆がバラバラにいるので、その後の安否確認
- ・ 車での避難だと渋滞が心配
- ・ 住まいの確保について
- ・ 食料、家族の安全
- ・ 足が少し悪いので、急げるか
- ・ 老人の避難方法

## 【70代】

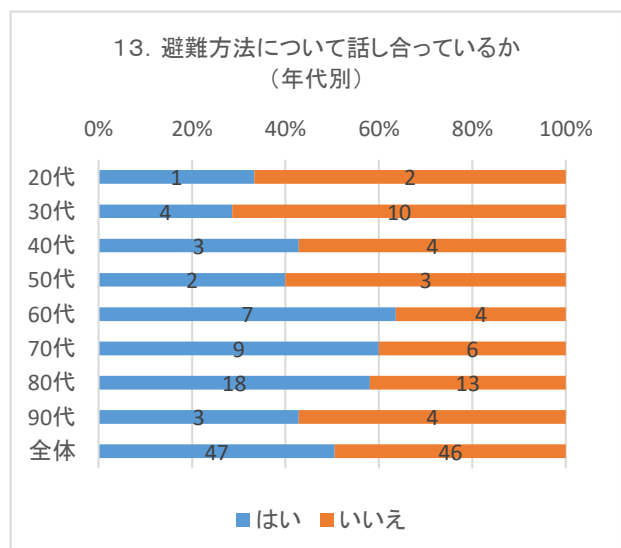
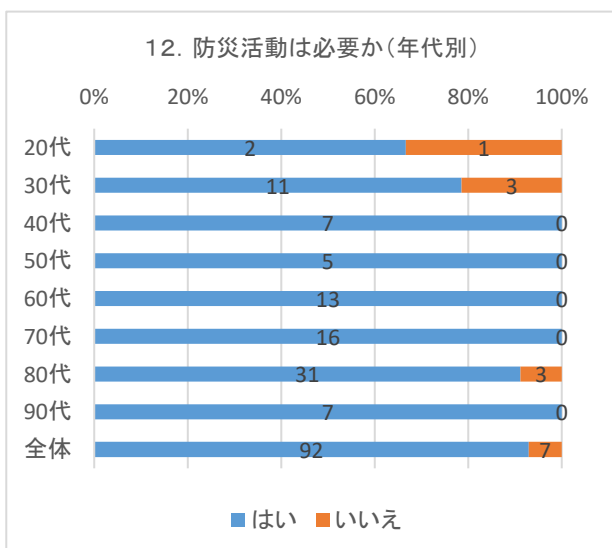
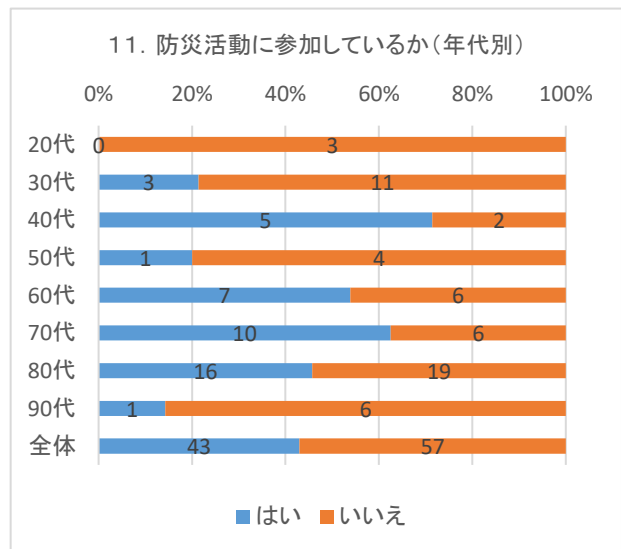
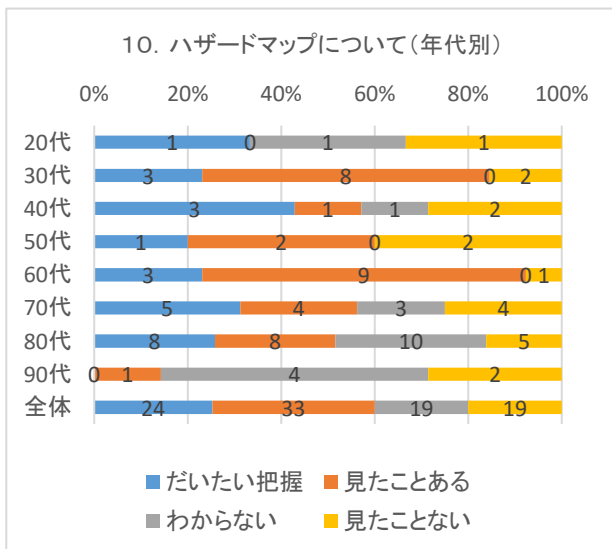
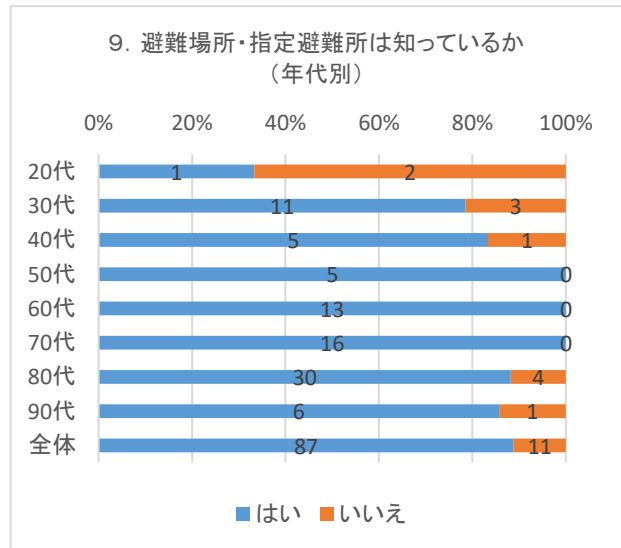
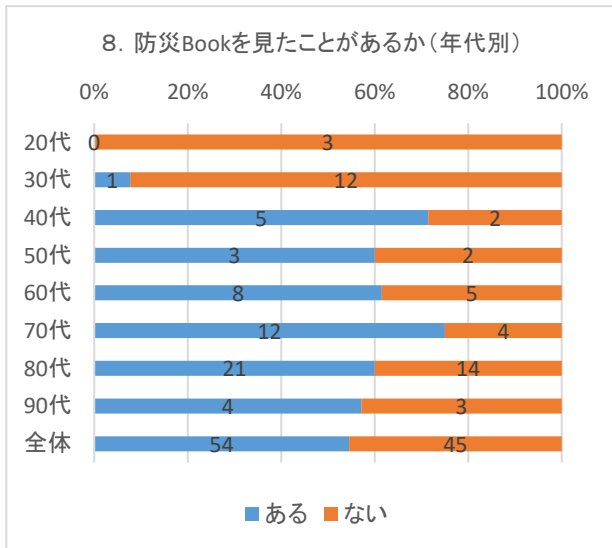
- ・ 家の横に川があるので、大雨、洪水が心配一人暮らしなので、2階に上がるしかできないかな
- ・ 家族が2人も高齢なので、避難方法が心配です。
- ・ 災害の状況が把握できるか？自分たちにその状況が伝えられるのか？
- ・ 防災ラジオの雑音が多すぎる。よく聞こえない。
- ・ 避難場所、食品、生命の危機

## 【80代】

- ・ 1人であるため、家族が桜井にいるけど少し不安です。
- ・ 1人暮らしだから色々不安（雨とか風とか）自然には勝てないと思っている。
- ・ あっという間に水がつくと思うので、年寄りには逃げられないだろう。
- ・ その後の火災が心配
- ・ オール電化なので漏電が心配
- ・ トイレ、水をどこでもらうか息子と携帯で連絡とれるはずだが心配
- ・ 一人暮らしなので、自分一人で避難できるか心配
- ・ 家
- ・ 公共交通
- ・ 高齢だから何かと心配
- ・ 自分の足で歩けるか不安
- ・ 初期避難の場所と方法
- ・ 水、電気、食料
- ・ 足が痛いので歩くのが心配
- ・ 津波(2名)
- ・ 電気、水道等ライフラインの停止
- ・ 土砂崩れ
- ・ 避難場所が遠い
- ・ 避難場所まで、歩いていけるか不安。夫は運転しているが、88歳であるので心配。
- ・ 歩いていけるかわからない（2名）
- ・ 夜は心配になります。
- ・ 連絡方法、家族の安否。自分のことについて連絡を取り合うことができるか？携帯がつながるか？

【参考】

※設問8～13までの年代別回答比較



## 黒部市社会福祉法人連合会『ふくしの暮らしアンケート【防災編】』

日頃より、本会の事業に対し格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本会では地域のニーズや課題を受け止め、市民の福祉の向上を図ることを目的とし、年越しまつりにご来場いただきました皆様方を対象に調査を実施させていただきます。ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

※あてはまる番号に○をつけてください。

### ◎あなた自身の情報について

問1 あなたの性別をお聞かせください。

1. 男性            2. 女性

問2 あなたの年代をお聞かせください。

1. 20代          2. 30代          3. 40代          4. 50代  
5. 60代          6. 70代          7. 80代          8. 90代以上

問3 あなたの住んでいる地域はどちらですか。

1. 市内（            地区）          2. 市外（            ）

### ◎災害への意識について

問4 近年、各地で自然災害が発生していますが、あなたの防災への意識は高まりましたか。

1. 非常に高まった  
2. ある程度高まった  
3. あまり変わらない  
4. 全く変わらない  
5. その他（            ）

問5 お住いの地域における地震、台風、大雨など大きな自然災害が発生する確率が年々高まっていると感じますか。

1. とても感じる  
2. ある程度感じる  
3. あまり感じない  
4. 全く感じない

### ◎災害への備えについて

問6 ご家庭で、備えをしている自然災害はありますか。

1. 地震            4. 特になし  
2. 津波            5. その他（            ）  
3. 大雨・台風

裏面に続きます →

問7 ご家庭では、地震や津波への備えを何かしていますか。(複数回答可)

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| 1. 家具の固定         | 6. ガラスの飛散防止      |
| 2. テレビなどの転落・落下防止 | 7. ポリタンク（水入れ）の準備 |
| 3. 非常持ち出し袋の準備    | 8. 消火器の設置        |
| 4. 非常食の準備        | 9. 住宅用火災報知器の設置   |
| 5. 飲料水の準備        | 10. その他          |
|                  | ( )              |

問8 くろべ防災Bookを見たことがありますか。

1. ある      2. ない

問9 あなたの地域の指定緊急避難場所及び指定避難所をご存知ですか。

1. はい      2. いいえ

問10 「ハザードマップ」などで、ご自宅を見たことがありますか。

1. だいたいの災害リスクを把握している  
2. 見たことはあるが災害リスクの確認まではしていない  
3. どこにあるかわからない、または知らない  
4. 聞いたことはあるが、見たことはない

問11 地域の防災活動（訓練）に参加されていますか。

1. はい      2. いいえ

理由：

問12 地域の防災活動（訓練）は必要だと思いますか。

1. はい      2. いいえ

理由：

問13 ご家族で避難の方法を話し合っていますか。

1. はい      2. いいえ

問14 仮に災害が起きた時、どのようなことが不安ですか。

ご協力ありがとうございました  
黒部市社会福祉法人連合会

平成 2019 年度 黒部市社会福祉法人連合会  
『ふくし暮らしアンケート【防災編】』調査報告書

発 行 令和 2 年 1 月

編集・発行 社会福祉法人黒部市社会福祉協議会

〒938-0022

富山県黒部市金屋 464 番地の 1

TEL 0765-54-1082 / FAX 0765-52-2797

E-mail kurobesw@ma.mrr.jp